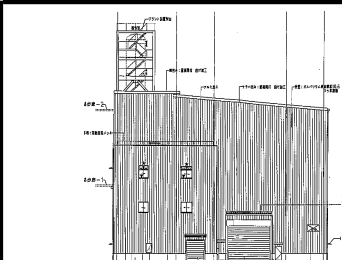


# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社響瀬火力発電所石炭・バイオマス焚き発電設備建設工事【タービン建屋】	階数	地上3F
建設地	福岡県北九州市若松区響町一丁目94番4	構造	S造
用途地域	工業専用地域, 法第22条区域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2016年9月8日
敷地面積	3893.48 (仮想) m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 大林組
建築面積	1,799 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	3,518 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 臨海部産業景観形成誘導地域として、響瀬地区の景観形成テーマに対応し、建屋及びプラント装置をバランスよく敷地全体に配置し、自然環境に調和した色調を採用している。全体色調は響瀬地区の色彩基準に適合するブルー及びグレー系でまとめている。		<b>その他</b> -
<b>Q1 室内環境</b> 全面的にF☆☆☆☆の材料を使用することと適切な換気計画とすることで、室内空気質環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い材料や防汚性を採用し、建物の維持管理に配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 空調屋外機を屋上に計画することで、景観及び敷地内空間等の暑熱環境に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 適切な外皮性能を確保すると共に、LED照明等による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が一般的な建物に対して7.9%とし、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される